

令和4年度

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

事業報告書



令和4年度 社会福祉法人知多市社会福祉協議会 事業報告

1 連携と協働の仕組みづくり

(1) 市民協働の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業にコミュニティで協力いただいた前年度社協会費の20%を助成しました。	1,627,000	1,627,000	0
2	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)に協力いただいた地区へ、実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	372,000	360,177	11,823
3	総合ボランティアセンター管理運営事業	ボランティア活動の情報発信・交流の拠点として、幅広い活動支援を目指し、総合ボランティアセンターの管理運営を行いました。 相談件数：318件 派遣件数：261件 センター来館者数：2,277人(平均190人/月) 登録：団体68グループ 個人139人 活動：団体847人 個人245人	984,000	758,935	225,065
4	ボランティア研修	ボランティアの意見交換を含め、総合ボランティアセンター登録の団体・個人ボランティアを対象に、双方が学ぶことのできる研修を行いました。 期日：11月17日 会場：市民活動センター 内容：学んで伝える！みんなにわかりやすい色づかい 講師：富本いちこさん(日本色彩学会代議員) 参加者：15人	60,000	21,681	38,319

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	団体ボランティア協働事業助成金交付事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティア活動を活性化させ、地域福祉事業を共に推進するために協働で事業を行いました。</p> <p>助成額：100,000円上限            交付団体：点訳サークル「てんでん」・情報録音ボランティア「じゅげむ」 79,000円            ガールスカウト愛知県第95団 43,785円            子どもの幸せを願うネットワークこども幸せネット 60,000円</p>	200,000	182,785	17,215
6	団体ボランティア運営費等助成金交付事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティアの活性化のため、助成金を交付しました。</p> <p>運営費助成            対象：ボランティアセンター登録団体            助成額：10,000円上限            交付団体：15団体            合計：105,000円</p> <p>物品購入費助成            対象：ボランティアセンター登録団体            助成額：100,000円上限            採択団体：手話サークル「たまごの会」71,961円            パソコンボランティア「まうすの会」100,000円</p>	600,000	276,961	323,039

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	総合ボランティアセンター関連会議・研修	職員の資質向上のため会議、研修会へ参加しました。また、団体ボランティアの各種表彰の受賞にあたり、表彰式出席のための旅費を支給しました。	58,000	27,760	30,240

(2) 関係団体等との連携の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	市民活動支援事業 ～活動支援を通じた人材育成～	<p>市民活動センターに拠点を置く総合ボランティアセンター、地域福祉サポートちた、市民大学ちた塾と実行委員会形式で市民活動の支援を通じ人材育成を行いました。</p> <p>期間：9月3日～2月11日 (全6回)</p> <p>会場： 市民活動センター</p> <p>参加者：延べ83人</p> <p>内容：情報発信に取り組みたい団体を対象に共感を呼ぶ情報発信の事例から、そのポイントを学び、活動の撮影・編集・発表</p>	実行委員会で予算計上		

(3) 活動・交流拠点の確保

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ふれあい・いきいきサロン事業	<p>町内会等で地域住民が気軽に交流できる場の開設支援・情報提供・活動支援を行いました。</p> <p>市内48か所 新規サロン：八幡新町健やかサロン（八幡新町）</p>	187,000	154,180	32,820

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	総合ボランティアセンター運営委員会	ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動及び事業について各種団体等で構成された運営委員会で検討しました。  運営委員会：3回	7,000	2,707	4,293
3	地域食堂交流会	小学校区または中学校区を単位として地域住民が気軽に交流できる場の開設支援、情報支援の研修会を行いました。 期日：9月10日 会場：市民活動センター 会議室1・2 内容：子ども食堂はみんなの居場所 講師：中村 強士 さん (日本福祉大学准教授) 参加者：会場26名 オンライン10アカウント	33,000	21,000	12,000

(4) 福祉教育の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	青少年ボランティア・市民活動体験事業	青少年を対象に団体ボランティア、NPO、福祉施設などでボランティア活動を体験する機会を提供しました。  期間：8月1日～8月31日 体験施設・団体数：28 参加者： 延べ170人、実人数143人 (中学生45人, 高校生97人, 一般1人)	171,000	111,500	59,500

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	発達障がい理解 セミナー	<p>発達障がいを正しく理解するために、啓発セミナーを開催しました。</p> <p>期日：11月26日 会場：メディアス体育館 ちた大会議室</p> <p>内容：「発達や行動が気になる子どもへの関り方のヒント～CARE™プログラムから学ぶ関係作り」 講師：つつじが丘子どもクリニック 山田理恵さん 参加者：会場123人 オンライン75アカウント</p>	70,000	30,168	39,832
3	ふくし川柳	<p>市内の小・中学校を対象に日常生活や実践教室等で感じたことを五・七・五の川柳として募集し、優秀者等を表彰しました。</p> <p>応募総数：1,803作品 特選3作品・秀作6作品 佳作6作品</p>	124,000	123,740	260

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	社会福祉協力校事業(実践教室・社会福祉図書事業)	<p>市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方等とふれあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため市内の小・中・高等学校へ福祉に関する図書等の教材を配りました。</p> <p>実践教室 助成額：各校50,000円 学校数：小学校10校           中学校5校</p> <p>体験学習 内容：講話・車いす、手話・点字、ガイドヘルプ、要約筆記、介護体験、災害救援、高齢者疑似体験等</p> <p>長期プログラム 内容：災害理解・高齢者理解・障がい理解プログラム(年間)</p> <p>社会福祉図書事業 助成額：20,000円上限 配布数：小学校10校・中学校5校・高等学校1校 計156冊</p>	1,347,000	1,174,231	172,769



No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	福祉教育セミナー	<p>福祉教育に携わる関係者を対象に、学校・地域住民・行政・社協が一体となって進める福祉教育のあり方や視点を学ぶセミナーを開催しました。</p> <p>期日：8月9日            内容：「学校と他機関のつながりづくり～知多市の社会資源を知る～」            講師：            市学校教育課            市福祉課職員            市子ども若者支援課            子育て総合支援センター            障がい児相談支援事業所さんぽ            社協職員</p>	57,000	0	57,000

2 必要な支援を受けられる環境づくり

(1) 包括的な支援体制の構築

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業	<p>町内会単位であんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域で座談会及び全体研修会を開催しました。</p> <p>確認書締結地区：70町内会 あんしんとなり組、災害時要援護者支援研修会 期日：2月26日 内容： 「避難行動要支援について考える～日常生活から切り離さない具体的な支援のあり方について～」 講師：篠原辰二さん （（一社）Wellbe Design理事長） 参加者：会場116人 オンライン25アカウント （確認書締結地区役員、民生委員児童委員、市・社協職員）</p>	207,000	89,830	117,170

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	傾聴ボランティア訪問支援事業	<p>高齢者、障がい者、又はその家族を傾聴ボランティアが訪問し、話を聴くことにより相手との信頼関係を築きながら、孤独感や不安などを和らげることを目的に行いました。</p> <p>傾聴ボランティア訪問支援 内容：利用者1人に対し、概ね月2回利用者宅等を訪問 活動者：傾聴ボランティア うさぎ 利用料：無料 登録利用者数：7人 打合せ会：月1回</p> <p>ボランティアフォローアップ研修 内容：普通救命講習 I</p>	30,000	2,175	27,825
3	買物支援ボランティア派遣事業	<p>高齢者等の買物弱者を地域ぐるみで支えるために、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を行いました。</p> <p>買物支援ボランティア派遣事業 活動日：月～金曜日 10:00～16:00(週1回1時間程度) 利用料：100円+燃料費200円 登録利用者数：5人 打合せ会：月1回</p> <p>ボランティアフォローアップ研修 内容：普通救命講習 I</p>	10,000	7,830	2,170

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	知多市高齢者相談支援センター (知多包括支援センター) 高齢者虐待相談センター 認知症総合支援事業(認知症地域支援・ケア向上事業)(認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業)	<p>高齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の専門職が行いました。また、高齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら運営しました。</p> <p>相談件数：11,227件            高齢者虐待に関する相談：1,180件            介護予防・事業対象者支援            計画作成件数：8,184件</p> <p>ふくし出張相談            市内5地区            相談件数：81件</p> <p>介護予防フォローアップ            教室            回数：116回            参加者：延べ944人            内容：健康体操(ヨガ、ストレッチ、リズム体操、チューブ体操等)</p> <p>出前講座            回数：8回            内容：高齢者相談支援センター活動紹介、消費者被害、福祉協力校等</p> <p>認知症介護者交流会            回数：12回            参加者：延べ47人</p>	166,490,000	143,657,382	22,832,618

認知症総合支援事業研修会

回数：2回

期日：5月18日

内容：

1部 認知症の周辺症状

2部 病院との連携

講師：

医療法人寿康会大府病院

精神保健福祉士

榊原和浩さん

参加者：67人

期日：7月20日

内容：高齢者虐待の防止と  
支援

講師：日本虐待防止研究・

研修センター代表

梶川義人さん

参加者：104人

認知症の人の家族支援

世界アルツハイマー月間

(9月)や世界アルツハイ  
マーデー(9/21・商業施設  
に出張相談10件)に啓発・  
相談を実施

認知症カフェの開催

回数：16回

参加者：延べ71人

チームオレンジの支援

東部地区をモデルに認知症  
の人や家族の支援ニーズに  
基づくステップアップ研修  
を実施

期日：8月27日

参加者：会場45人・オンラ  
イン9アカウント

チームオレンジメンバー：  
23人

チームオレンジのメンバー  
への研修：3回

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	若者未来応援事業	<p>若者応援隊「まなざし」、サポートネットゆっか、市社会福祉協議会、コニックス株式会社(青少年会館指定管理者)の4者による実行委員会方式で市から受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。</p> <p>若者サポート進路を考える会 期日：9月25日 内容：当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加者：会場43人 オンライン18アカウント</p> <p>若者サポートセミナー 期日：11月27日 内容：「経験者が語るひきこもり～解決ではなく共に在ること～」 講師：林 恭子さん 参加者：会場46人 オンライン38アカウント</p> <p>啓発活動 内容：ひきこもり支援リーフレット作成 部数：2,000部</p>			実行委員会で予算計上

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	生活支援体制整備事業（協議体運営支援事業）	<p>地域における生活支援サービスやネットワークを構築するために、市域の協議体（第1層）の企画運営に継続参加し、社会資源開発、人材育成、関係機関との調整・連携、広報等を行いました。</p> <p>会議 生活支援協議体委員会 回数：4回 生活支援コーディネーター第1層・2層会議 回数：12回</p> <p>広報 「ちたのふくし」に「地域包括ケアシステムだより」を年4回掲載</p> <p>地域共生社会づくりフォーラム 期日：11月5日 会場：福祉活動センター 内容：若者支援を軸とした共生社会のあり方 講師：石井正宏さん （NPO法人パノラマ） 参加者：会場36人 オンライン17アカウント</p>	1,440,000	1,440,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	生活支援体制整備事業（第2層コーディネーター）	<p>中学校区域（第2層）の生活支援体制を構築するために、地域診断、社会資源の開発、担い手の養成・発掘等を行いました。</p> <p>担当地区： 八幡中学校区 東部中学校区</p> <p>生活支援協議体委員会 生活支援コーディネーター 第1層・2層会議 回数：12回 コーディネート業務 八幡中学校区 （八幡地区） あんしんとなり組事業 取り組み方法の協議 八幡中学校区 （つつじが丘地区） 朝倉団地コミュニティ スペース運営支援 つつじが丘お助け隊運 営支援 東部中学校区 （東部地区） サロンへの定期訪問 サロンの立上げ支援 あんしんとなり組事業 取り組み方法の協議</p>	7,400,000	7,400,000	0



		<p>研修</p> <p>(1)まちづくりワークショップ inやわた 期日：8月28日 内容：地域活動の整理・工夫 会場：八幡コミュニティセンター 講師：酒井 保さん 参加者：46人</p> <p>(2)再発見！！地域と私たちの暮らしぶり 期日：10月29日 内容：地域の中の住民主体のつながりについて 会場：メディアス体育館ちた 講師：酒井 保さん 参加者：69人</p> <p>(3)再発見！！地域と私たちの暮らしぶり第2弾 期日：11月19日 内容：地域の中の住民主体のつながりについて 会場：青少年会館 講師：酒井 保さん 参加者：56人</p>			
--	--	---	--	--	--

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
8	地域介護予防活動担い手育成事業	<p>高齢者の介護予防と自立した日常生活を支援する活動団体及びボランティア等の育成のため研修会を開催しました。</p> <p>期日：3月19日            内容：お宝発表会            会場：メディアス体育館ちた            講師：酒井保さん            参加者：89人</p>	200,000	200,000	0
9	発達障がい児の親の交流会	<p>発達障がい児を持つ家族同士が、悩んでいることや困っていることを自由に話し合うことで、子どもに対する理解を深めたり、本人への上手な対応の仕方に気づいたりしながら家族の持つ力を身に着けるために交流会を開催しました。</p> <p>期日：6月7日、7月10日            内容：コミュニケーション講座            講師：皿井啓之さん            (心理カウンセラー)            参加者：会場18人</p>	46,000	34,000	12,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
10	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）	<p>生活困窮者に対して相談支援員が困りごとを整理し、自立に向けた個別プランを作成しました。また、関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行いました。</p> <p>新規相談人数：223人            相談実人数：604人            相談対応件数（延べ）：2,522件            住居確保給付金申請：13件            住居確保給付金（延長）：3件、（再延長）3件、再々延長 0件            住居確保給付金再申請：3件</p>	17,070,000	16,430,455	639,545
11	生活困窮者自立支援事業（無料職業紹介事業）	<p>自立相談支援事業の利用者を対象に、その方の希望や特性に合わせた求職活動、事業所の開拓などを行い、求人情報をホームページや掲示板などで公開し、就労斡旋を行いました。</p> <p>相談件数：86件            求職登録者数：22人            求人登録件数：31件            就職者数：7人</p>			
12	生活困窮者自立支援事業（家計改善支援事業）	<p>相談者の家計の見直しや債務整理、税の分納相談に同行する等、家計改善に向けて支援しました。</p> <p>家計改善プラン作成：5件            相談実人数：45人            相談対応件数（延べ）：414件</p>	6,317,000	5,550,443	766,557

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
13	フードバンク事業	<p>市民や企業から食料品等の寄付をいただき、生活困窮者の生活再建を図るため食糧支援を行いました。また、地域交流活動団体等へ地域福祉の向上を図ることを目的に食糧支援を行いました。</p> <p>フードバンク：123件 地域交流活動支援：26件 フードドライブ：65件</p>	160,000	160,000	0
14	日常生活自立支援事業	<p>日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続き、利用料の支払い等の援助を行いました。</p> <p>利用契約者数：11人</p>	1,832,000	893,434	938,566
15	貴重品預かり事業	<p>高齢者、障がい者又は生活困窮者などで判断能力はあるものの、貴重品や金銭管理などの自己管理が十分に行えない方が、安心した生活を送れるよう支援を行いました。</p> <p>利用契約者数：2人</p>	15,000	2,000	13,000
16	法人後見事業	<p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者で意思決定が困難になった方の財産管理、身上監護などを行うため、法人として成年後見制度を利用し、本人の権利を擁護しました。</p> <p>法人受任件数：3人</p>	17,000	0	17,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
17	資金貸付事業	<p>低所得者・障がい者・高齢者・新型コロナウイルス感染症の影響により減収、離職した方等に対し、資金貸付と相談・支援により経済的自立や社会参加の促進を図りました。</p> <p>生活福祉資金 緊急小口資金：1件 福祉費：1件 緊急小口資金特例貸付：57件 総合支援資金特例貸付：30件 生活応援まごころセット：16件 特例貸付・生活応援まごころセットについては、令和4年9月30日終了</p> <p>つなぎ資金 貸付件数：7件 貸付総額：103,000円 償還件数：68件 償還総額：387,500円 償還免除：3件 償還免除金額：80,000円</p> <p>旅費欠乏者援護 貸付件数：0件 ※くらし資金・旅費欠乏者援護は、令和5年3月31日廃止</p>	<p>13,130,000 (内訳) 生活福祉資金 10,422,000 つなぎ資金 2,698,000 旅費欠乏者援護 10,000</p>	7,420,209	5,709,791

## (2) 情報提供の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	社協だより「ちたのふくし」の発行	<p>社協の活動を市民に広く周知し、福祉への理解、関心を高めるために広報紙を4回、全戸配布しました。</p> <p>7月： 事業報告、決算報告、マスコットキャラクター募集</p> <p>10月： 赤い羽根書道ポスター紹介、会員加入お礼</p> <p>1月： ボランティア講演会、ふくし川柳紹介、共同募金運動協力お礼</p> <p>4月： マスコットキャラクター決定、福祉体験作文コンクール入選紹介、在宅福祉サービス一覧、事業計画、予算、会員募集お願い</p> <p>毎号掲載： 高齢者相談支援センター通信、自立生活サポートセンター通信、ボランティア通信、地域包括ケアシステムだより、ふれあい・いきいきサロンリレー、相談・居場所案内、寄附報告</p>	4,756,000	4,597,565	158,435
2	第22回福祉フェスティバルの開催	<p>市と共催し、市内における福祉事業や各種団体の福祉活動を広く住民に紹介することで、住民参加の増進を図るために開催しました。</p> <p>期日：10月22日、23日 会場：メディアス体育館ちた 入場者：29,000人 参加団体：47団体 内容：各種団体等の活動発表、福祉体験、ゲーム、施設紹介、事業紹介、福祉フェスティバル作品展他</p>	3,426,000	3,077,686	348,314

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	ホームページ事業	<p>ホームページ、インスタグラム、LINE等のSNSを活用し広く、情報発信に努めました。</p> <p>内容： 各事業案内、募集、事業報告、収支決算、事業計画、収支予算、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞 作品等</p>	266,000	260,164	5,836
4	視覚障がい者情報提供事業	<p>視覚障がいのある方に音訳・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」等の情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書を設置を総合ボランティアセンターで継続して行いました。</p> <p>利用者数：13人            発送数：            [音訳数] 302本            [点訳数] 155冊            音訳図書貸出件数：0件            協力団体：            声のたより「青空」、            情報録音ボランティア「じゅげむ」、「ルボン」、点訳サークル「てんてん」</p>	135,000	80,916	54,084

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	情報誌発行事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する個人・団体の情報を市民へ広く発信するために「ボランティアタウンちた」を発行しました。 発行部数：「知りたい人、やりたい人編」500部、「してほしい人編」800部 配布先：市内公共施設、店舗、民生委員等の関係者 内容：センター利用ガイド、派遣手続き、グループ紹介</p> <p>ボランティア活動に関心を持ってもらうために、市内全戸配布の社協だより「ちたのふくし」に「ボランティア通信」を掲載しました。また、ホームページ・SNSを活用して情報発信をしました。 発行回数：4回 （7月・10月・1月・4月） 配布方法：全戸配布</p>	596,000	574,662	21,338



## (3) 災害時の支援体制の整備

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座	<p>災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な演習の反復を通じて資質向上を図るよう、講座を開催しました。</p> <p>期間：8～11月 回数：7回 講師：西川賢次さん（防災士）、河合美恵子さん（防災士）、愛知県社会福祉協議会職員、市防災危機管理課職員 参加者：36人 延べ人数：117人</p>	173,000	125,640	47,360
2	災害時対応物品整備事業	<p>災害時の社協の初動に必要な物品を備蓄しました。</p> <p>購入物品：粉塵用防護具セット、土嚢袋、新型コロナウイルス検査キット</p>	250,000	93,500	156,500
3	災害ボランティアコーディネーター養成講座	<p>災害ボランティアセンターの運営を担うコーディネーターに必要な基礎的な知識と技術、行動体制を学ぶために講座を開催しました。</p> <p>期間：11月 回数：3回 講師：西川賢次さん（防災士）、河合美恵子さん（防災士）、市防災危機管理課職員、市福祉課職員、消防本部予防課職員 修了者：8人 延べ人数：64人</p>	366,000	255,237	110,763
4	災害救援ボランティア派遣事業	<p>災害時に被災地支援としてバスを借り上げ、災害ボランティアコーディネーターを派遣しますが、4年度は、応援要請が無く実施しませんでした。</p>	—	—	—

### 3 誰もが参加できる活動の場づくり

#### (1) 健康づくり・介護予防の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	介護保険外対応ホームヘルプ事業（生活応援サービス「かがやき」）	入退院時や病院内の介助等、介護保険制度では対象とならないサービスを提供しました。 利用回数：103回	333,000	332,720	280

#### (2) 生きがいつくりと社会参加の促進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	総合ボランティアセンターミニ講座	総合ボランティアセンターに登録しているボランティアが講師・協力者となり、日頃の活動を市民に広く周知しました。 回数：22回 参加人数：延べ156人	—	—	—
2	移送サービス事業 車いす貸し出し事業	移送サービス事業 車いすを使用され外出が困難な方に福祉車両の貸し出しを行い、社会参加支援を行いました。また、共同募金特別配分事業費配分金を受けて、移送車両（日産キャラバン）を買い替えました。 福祉車両：車いす対応車両 2台 利用件数：103件 利用者登録数：28人  車いす貸し出し事業 高齢者、身体障がい者・傷病者の方などに車いすを貸し出し、日常生活の便宜を図りました。 保有台数：49台 貸出件数：181件	4,989,000	4,211,285	777,715

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	ひとり暮らし高齢者への年賀状郵送事業	ボランティアグループの協力を得て、ひとり暮らし高齢者に年賀状を通じた交流を行いました。	65,000	65,000	0
4	障がい者居宅介護等事業	身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助等を行い、自立した生活の支援をしました。 利用回数：居宅介護3,529回 移動支援108回	21,629,000	18,180,158	3,448,842
5	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭・父子家庭等で就職活動、疾病、生活環境の変化等により生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービスを提供しますが、利用はありませんでした。	1,000	0	1,000
6	各種福祉団体の支援	民生委員児童委員協議会、手をつなぐ育成会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、子ども会連絡協議会、遺族会の事務局として、団体の事業や運営を支援しました。また、助成金を交付し、活動を支援しました。  民生委員児童委員協議会 195,644円（運営費） 身体障害者福祉協議会 0円（事業費） 子ども会連絡協議会 46,000円（運営費） 子ども会連絡協議会 50,000円（事業費）	342,000	291,644	50,356

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	応援アンバサダー事業	アフターコロナを見据え、主に在宅でできる作成ボランティアを「応援アンバサダー」と称し、不活性になったボランティア活動の活性化を図りました。	100,000	15,091	84,909

(3) 多様なつながりと交流の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ボランティア講演会	ボランティアの輪を広めることを目的にボランティア連絡協議会と協働で講演会を開催しました。 期日：1月29日 会場：知多市勤労文化会館 内容：映画上映「梅切らぬバカ」 参加者：342人	127,000	110,800	16,200
2	ボランティア連絡協議会への助成	団体ボランティアで組織するボランティア連絡協議会に対して、事業・運営に関する活動費を助成しました。	100,000	100,000	0
3	発達障がいサポーターフォローアップ事業	発達障がいのある子どもとその家族を地域で支えるために、子どもの自己肯定感を育む居場所支援サポーターの養成・研鑽のために講座を開催しました。 期日：6月26日 講師：牧真吉さん (日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授) 参加人数：15人(内登録15人)	33,000	32,000	1,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	フリースペース 「ひみつきち」 (発達障がい児 居場所づくり事 業)	<p>発達に不安のある子どもと その保護者とともに、一人 ひとりが安心して過ごせる 家庭的な居場所を設けまし た。</p> <p>回数：16回 開催：夏休み（6回）、第 3土曜日（10回） 会場：福祉活動センター他 内容：レクリエーション、 社会参加体験等 参加人数：利用者55人、家 族36人、ボランティア65 人（いずれも延べ）</p>	415,000	111,356	303,644
5	フリースペース 「まな」（ひき こもり・不登校 居場所づくり事 業)	<p>ひきこもり・不登校で悩ん でいる本人や家族をありの ままに受け入れる居場所を 設けました。</p> <p>回数：21回 開催：毎月第2・4土曜日 会場：福祉活動センター、 ねっとMURA 内容：自由に話し合える居 場所とレクリエーション (第2土曜日) 食事作り、中間就労体 験、地域サロンへの参加 等、食を通じた交流（第 4土曜日） 参加人数：利用者83人、ボ ランティア98人、見学 者・協力者10人（いずれ も延べ）</p>	220,000	91,300	128,700

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	長期・年長ひきこもりを抱える家族の集い	<p>ひきこもりの子を持つ家族同士が悩み等を自由に話し合うことで、ひきこもる本人に対する理解を深めたり、対応の仕方等を情報交換したり、家族自身の持つ力を取り戻すために開催しました。</p> <p>回数：4回 開催：5・8・11・2月 第4火曜日 参加人数：24人</p> <p>ひきこもり理解セミナー 期日：1月22日 講師：竹中哲夫さん (日本福祉大学名誉教授) 参加人数：88人</p>	50,000	50,000	0

#### 4 信頼される社協づくり

##### (1) 組織体制強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	福祉功労者顕彰	福祉活動の功績が顕著な個人・団体などに、表彰状、感謝状の贈呈を行いました。 感謝：11件	88,000	83,513	4,487
2	役員研修	理事、評議員に対して社会福祉協議会の歴史的変遷や求められる役割の変化、役員としての関りなどについて研修を行いました。 期日：9月2日 会場：福祉活動センター 内容：「社協の組織と社協の機能」 講師：篠原辰二さん ( (一社) Wellbe Design 理事長)	80,000	80,000	0
3	職員研修	職員の資質向上のために一般事務員、高齢者相談支援センター職員、介護支援専門員、ホームヘルパーを対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。 内容：新規採用職員研修、キャリアパス研修、CSW研修、SST初級研修、苦情解決事務担当者研修、東海北陸ブロック社会福祉協議会研究協議会、職員全体研修等	257,000	92,020	164,980

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉活動センターの管理運営	福祉団体・ボランティアグループ等の活動拠点である福祉活動センターの指定管理を受託し、サービスの向上に努めました。  年間利用者数： 1,252件 13,738人	10,998,000	10,446,059	551,941

(2) 財源強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	会員募集	自主財源確保のため、会員の加入促進を各コミュニティを通じて行いました。 また、市内法人社、関係機関へ直接依頼しました。 会費収入 一般会員(500円) 15,022件 7,511,000円 特別会員(1,000円以上) 474件 467,100円 法人会員(3,000円以上) 163件 771,000円 合計 8,749,100円	617,000	610,215	6,785
2	ちょこっと募金	市内の店などにちょこっと募金箱を設置し、広く市民に呼びかけボランティア事業財源の確保に努めました。  設置数：23店・6施設 募金額：77,311円	3,000	1,764	1,236



No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	自動販売機設置事業	市内公共施設に自動販売機を設置し、収益を事業に充当しました。 設置台数：市内5か所6台 設置場所：青少年会館、福祉活動センター、消防署八幡出張所、ふれあいプラザ、こども未来館	381,000	346,299	34,701

(3) 介護保険等事業の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	障がい者相談支援センター 特定相談支援事業	障がいのある方やその家族等への情報提供、相談、支援を行う障がい者相談支援センターを3法人（知多福祉会、NPO法人びすた〜り、知多市社会福祉協議会）で共同運営しました。 特定相談支援事業では、サービス利用計画の作成等を行いました。 事業所名：障がい者相談支援センター 相談実人数（3法人）：389人 障がい者相談件数（3法人）：11,234件 事業所名：障がい者計画相談支援事業所しゃきょう サービス利用等計画作成件数（計画案含む）：80件	10,680,000	9,599,847	1,080,153

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	訪問介護事業	<p>要介護の方の排泄等の身体介護、調理や洗濯等の家事援助、要支援の方の予防訪問介護サービスを提供しました。</p> <p>事業所名：社協ヘルパーステーション  サービス提供時間：年中無休 7時～21時  訪問介護利用回数：6,344回  介護予防訪問介護利用回数：1,664回</p>	56,286,000	49,833,298	6,452,702

(4) 市民へのPR

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	公式マスコットキャラクター作成	<p>知多市社会福祉協議会の認知度向上のため、マスコットキャラクターを一般公募し、応募総数49作品の中から「チータン」に決定しました。</p>	145,000	103,000	42,000



